

第3学年国語科学習指導案

日時：平成29年11月28日（火）第5校時

場所：四万十市立具同小学校3年1組 児童数35名

授業者：村上 真紀

- 1 単元名** 世界の物語をしょうかいしよう
教材名 「はりねずみと金貨」（東京書籍3年下）

2 単元について

(1) 単元観

本単元で扱う内容は、学習指導要領には以下のように位置付けられている。

第3学年及び第4学年「C 読むこと」

ウ 場面の移り変わりに注意しながら、登場人物の性格や気持ちの変化、情景などについて、叙述を基に想像して読むこと。

カ 目的に応じて、いろいろな本や文章を選んで読むこと。

本単元では、「C 読むこと」の言語活動例「エ 紹介したい本を取り上げて説明すること」を具体化した「世界の物語を『紹介カード』にまとめて全校児童に紹介しよう」という言語活動を位置付ける。

本教材は、はりねずみが拾った金貨で冬ごもりの支度をしようとするが、森の動物たちの善意の贈り物により必要なものはそろい、最後には、拾った金貨を誰かのために置いて帰るといふ物語である。人物が登場するたびに同じような場面が繰り返される展開なので、それぞれの場面で起きた出来事について大事なこと（いつ・どこで・だれが・どうした）を取り出しながら、あらすじをまとめる学習が仕組みやすい。また、それぞれの動物の思いやりを感じ取りながら、はりねずみもまた思いやりをつないでいき、はじめの場面で拾った金貨を最後に置いていくはりねずみの気持ちの変化にもふれることができる。さらに、関連図書として外国の物語を読むことで、世界のいろいろな国を知るとともに、風習や文化の違いの面白さにふれながら、世界のいろいろな国や地域の物語に目を向けるきっかけになり、読書の幅をさらに広げることができると思う。

(2) 児童観

5月下旬に実施した国語アンケート「読書は好きですか」の肯定的評価は85%であった。楽しみながら読書をし、少し長い物語を読み通す力も付いている児童が多くなってきている。しかし、漠然としか物語を読むことのできない児童や、文章をすらすら読むことができず、読書の世界を楽しめていない児童もいるのが現状である。4月実施の標準学力調査の結果は正答率68.6%で全国平均を下回っていた。日頃から、理由もなく「何となくそう思う」という思いつきの発表もあり、長文を読み取ること、叙述を基に想像して読むこと、与えられた条件を考えて読むことなどの積み上げが出来ていなかったことが要因として考えられる。これらのことをふまえながら、6月「ゆうすげ村の小さな旅館」では、しかけを見付けるために場面ごとにどんな出来事が起きたのかを確かめ、出来事を関連付け文章中の語や表現に着目して読み、人物の行動や会話を手がかりに、中心人物の人物や気持ちを考えた。10月の「サーカスのライオン」では、中心となる人物の気持ちの変化を考えながら読み、

最後に、主人公へ手紙を書きそれを紹介し合う学習をしている。その結果、大事な言葉を見つけて人柄や性格を考えたり、場面と場面を結び付けて考えたりすることは、楽しみながら進めることができる児童が増えてきた。しかし、どうしても言葉から広がるイメージを崩すことができず表現が乏しくなってしまうたり、友達任せにして自分から考えようとしなかったりする児童もいる。

そこで、本単元では、「紹介カード」を作成する活動を通して、場面の移り変わりに注意し、叙述をもとに登場人物の気持ちの変化や情景について想像しながら読む活動を通して、あらすじに必要な出来事を落とさないようにしてまとめさせたい。そして、世界の物語の紹介カードを書いて全校児童に紹介することで、身に付けてきた言葉の力を活かし楽しく読む力を付けていきたい。

(3) 指導観

第一次の単元の導入では、「世界のお話」というジャンルについて興味を持たせるために、ゲストティーチャーとして図書担当教師にいろいろな国の本を紹介してもらおう。その後で、言語活動のモデル「お話紹介カード」(本の帯やポップ等)を見せ、単元のゴールイメージをつかむとともに、それを図書室に掲示してもらい全校児童に「世界の物語を紹介しよう」という学習のめあてを確認する。また、「お話紹介カード」(本の帯やポップ等)には、何が、どんなふうにかかれてあるか等について分析することで、見通しを持たせ学習意欲に繋げたい。本を紹介するためには、目的を持っていろいろな本を読み、選ぶことも必要になってくる。外国の物語を読むことで、世界の国々や地域に目を向けるきっかけをつくりたい。

第二次では、まず、それぞれの場面での「場所」「人物」「出来事」を中心に大事な言葉や文、出来事などを取り出させ、はりねずみと森の仲間との関わりやはりねずみの人柄、はりねずみが金貨をまた道端においた意味なども考え、自分で1～2文でまとめてみる。次に、まとめた出来事をもとにして、150字程度で全体のあらすじをまとめる。それをもとに、グループ学習であらすじの内容についての意見の交換をする。いいところや付け加えたいところなどの書き方の工夫や読み手を意識した言葉遣いなどについて話し合うことで、自分の考えを広げたり、深めたりできるものと思われる。その後、あらすじを見直す場の設定をし、友達からもらった意見を整理しながら仕上げていく。その際、各段落のあらすじが一目で分かり、後でまとめやすいようにワークシートは1枚にする。本単元では、教材文で学習した読みを、次時に自分が選んだ本で活用しながら学習を進めていく。次時の学習に役立つ家庭学習に繋げることにより、スムーズに学習に取り組めるようにする。

第三次では、読んだ本のおもしろさが伝わるように、工夫しながら本の「お話紹介カード」を作り交流し合う。そのことで世界のいろいろな国の物語を読みたいという思いを高め、児童の読書の幅を広げていくことも願っている。

本時は、おすすめの物語のあらすじをまとめる活動である。まず、場面の移り変わりや人物の気持ちの変化等に注意し物語の組み立てについて考えた前時までのワークシートを参考にしながら、自分であらすじを考える。次に、同じ物語を選んだ友達とグループを作り交流させる。その際、まず、叙述を参考にしながら自分のあらすじを発表させる。その後、友達の意見を聞き、自分の考えを広げたり、深めたり、整理したりしながら交流する。そうすることで、よりよいあらすじにまとめることができる。振り返りでは、交流前後のあらすじを比較させることで、あらすじの変容に気付かせ、話し合うことの良さを実感できるようにしたい。

3 研究主題に関わって

本校の研究主題は、「自ら課題をつかみ 思考し 表現し合う授業づくり ～習得・活用・探究のつながり 指導過程・指導方法と発問を大切に～」である。第一次では、図書担当教師による導入を行い、単元構想図や1時間ごとのめあてを確認することで、指導過程が児童のものとして学習の見通しとなり、楽しみながら「課題をつかみ」学習することができるものと思われる。第二次では、叙述を手がかりに物語の場面や情景、登場人物の人柄や気持ちの変化などについて想像(思考)し、それを書いたり発表したりする発問や指導過程の構成を工夫することで、「表現しながら」読み取っていく学習を展開し、授業で学んだこと(習得)を、次時で自分の読みや表現に活かす(活用)活動を取り入れる。2年生で身に付けた「何がどうなったかを考える」や「場面のようすを思い浮かべる」といった言葉の力をもとに、これまでの3年生の学習で身に付けた「物語のしかけ」や「中心となる人物を見つける」の言葉の力を活用しながらあらすじをまとめる力を身に付けさせたい。また、次時の学習に役立つように家庭学習とリンクさせることや、グループ学習を多く取り入れること等を通して、新たな課題や思考をつかんだり、関わり合うことの良さを感じたりしながら物語を深く理解することにつながると考える。第三次では、自分が選んだ本を全校児童に紹介する為の紹介カードを作成する。読み手を意識したあらすじの書きぶりの工夫を考えたり、友達の発表を聞いたりすることで物語の面白さを感じ、世界のいろいろな国や友達の選んだ本や他の物語に興味を持ち、自ら読み進めていく(探究)ことにつながっていくように単元を展開していきたいと考えている。

大事な言葉や文に着目してまとめることは、実生活の中で必要な力である。総合的な学習の時間での探究的な見方・考え方を働かせる場面で、自分で課題を見付け情報を集め、課題を解決するために、整理・分析したり、まとめたりするときにも役立つと考える。また、自分が見た映画やテレビ番組、読んだ本などの内容を友達に紹介する時にも必要な力である。このように、この単元で付けた力が、いろいろな学習や日常生活と深く関わっている事を意識させ、様々な体験を通して実感させたい。

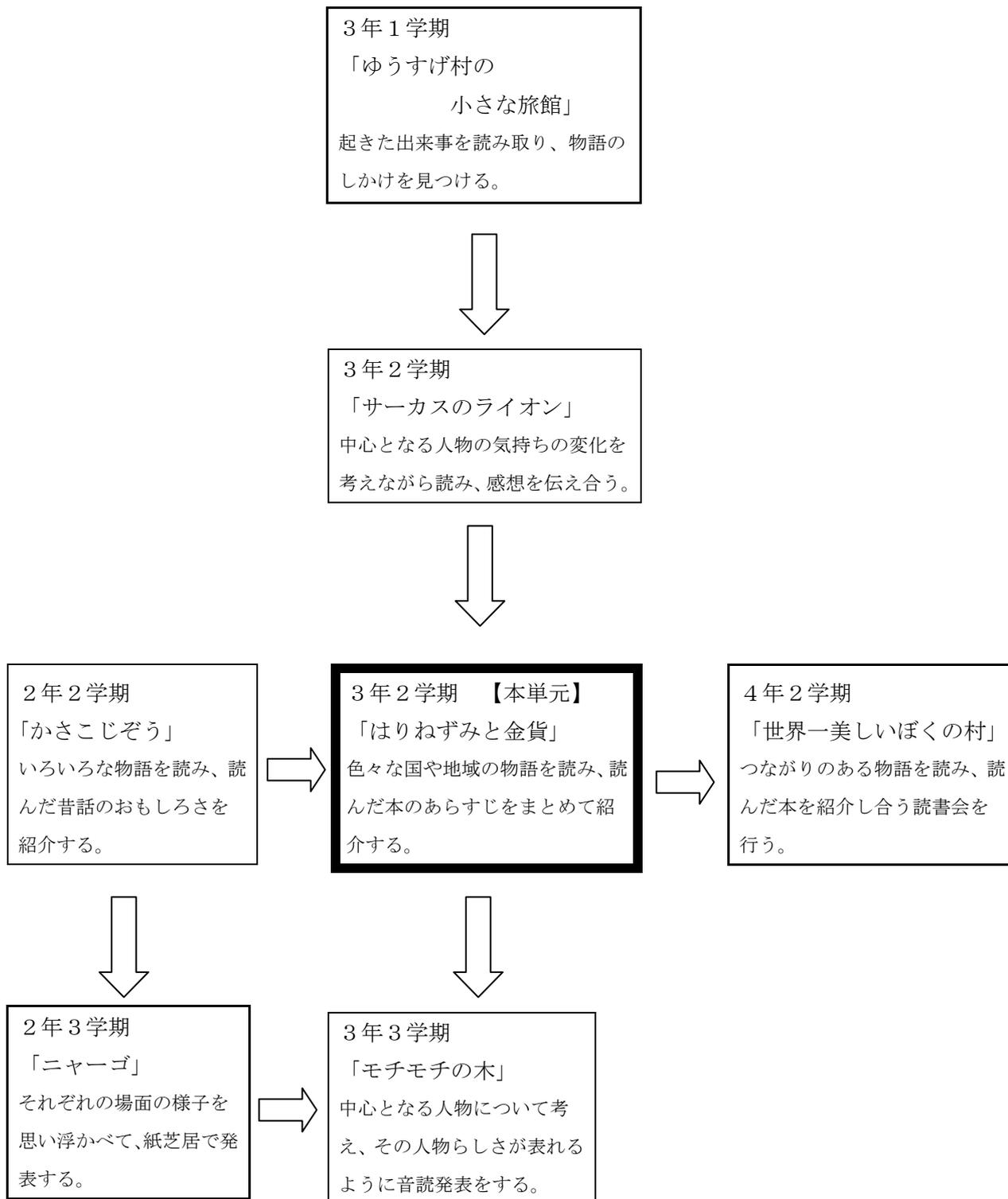
4 単元の目標

- ・自分が選んだ本についてあらすじを捉え、読み手を意識して紹介することができる。

5 単元の評価規準

国語への 関心・意欲・態度	・紹介したい本について説明するために、本を繰り返し読むなどして、改めて味わったり、新たなおもしろさに気付いたりしながら読もうとしている。
読む能力	・自分が選んだ本のおもしろさを説明するために、場面の移り変わりの印象的のところや主人公の性格や気持ちの変化を捉えて読んでいる。(ウ) ・相手が知らない本や自分が読んで紹介したいと思う本について、選んだ理由を明らかにしながら読んでいる。(カ)
言語についての 知識・理解・技能	・表現したり理解したりするために、必要な語句を増やしている。 伝国(1)イ(オ)

6 関連と発展



7 単元の計画(全12時間)

学習活動	単元の主な評価規準	児童の意識の流れ
第一次 学習の見通しを持つ。		2時間
① いろいろな国の物語があることを知り、ゴールイメージを持つ。 ② 本の帯やポップには、何が書かれているか確認し、学習計画を立てる。	・世界の物語に関心を持ち、楽しんで読もうとしたり、自分がおもしろいと思ったお話について話そうとしたりしている。 【関心・意欲・態度】 ・表現したり理解したりするために、必要な語句を増やしている。 【伝国(1)イ(オ)】	・いろいろな国の物語を読みたいな。 ・本の帯には本の題名、作者名、話のあらすじが書かれているな。 ・早くみんなに紹介したいな。
第二次 物語文「はりねずみと金貨」を学習し、紹介するときに役立てよう。		8時間
③④場面の移り変わりに注意し物語の組み立てについて考える。 ⑤ グループで助言し合い物語の組み立てをまとめ、仕上げる。 ⑥ 自分の選んだ本で場面分けをし、物語の組み立てを考える。 ⑦⑧あらすじのまとめ方を学び、キーワードを見つけて、あらすじをまとめる。 ⑨ グループで助言し合いあらすじを仕上げる。 ⑩ 自分の選んだ本であらすじをまとめ、グループで助言し合いあらすじを仕上げる。(本時)	・表現したり理解したりするために、必要な語句を増やしている。 【伝国(1)イ(オ)】 ⑥～⑩ ・自分が選んだ本のおもしろさを説明するために、場面の移り変わりの印象的のところや主人公の性格や気持ちの変化を捉えて読んでいる。 【C(1)ウ】 ・相手が知らない本や自分が読んで紹介したいと思う本について、選んだ理由を明らかにしながら読んでいる。 【C(1)カ】	・それぞれの場面できなにおきたのかな。 ・中心人物は何をしたのかな。 ・(いつ、どこで、だれが、どうした)に気を付けてあらすじを書こう。 ・読み手を意識してあらすじをまとめるんだね。 ・あらすじに必要な言葉を抜かさないように書こう。
第三次 世界の物語をみんなに紹介しよう。		2時間
⑪ 自分の選んだ本の紹介カードを作る。 ⑫ 友達に紹介し合い、学習のまとめをする。	・自分が選んだお話や他の作品を改めて読み返そうとしている。 【関心・意欲・態度】	・読み手の事を考えたら結びは書かない方がいいな。 ・いろいろな国の本を読みたいな。
【付きたい力】 <ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの場面でおきた出来事を取り出しながら、あらすじをまとめる力 ・世界のいろいろな国や地域の物語から自分が読みたい本を選んで読む力 		

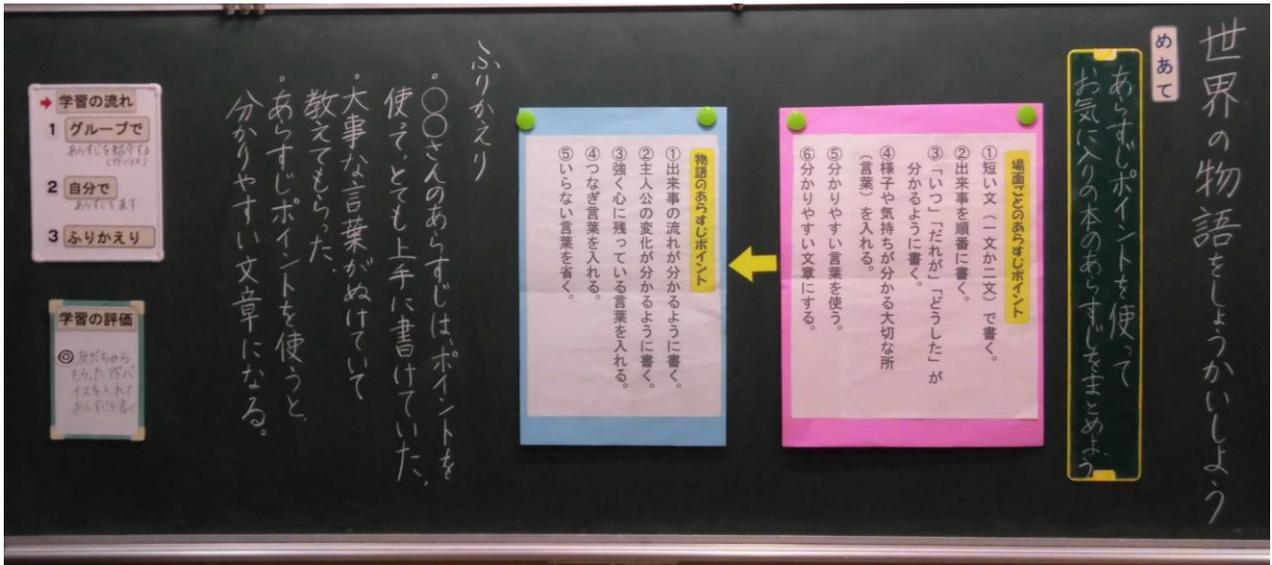
並
行
読
書

8 本時の指導(10/12)

- (1) 目標 あらすじに必要な大事な言葉(あらすじポイント)を使って、お気に入りの本のあらすじをまとめることができる。
- (2) 準備物 カード、ワークシート、お気に入りの本、拡大提示装置一式
- (3) 展開

	学習活動【主な発問★】	指導上の留意点(○)と評価(◆)
つかむ5分	1 前時までを振り返る。 2 本時の課題をつかむ。	○ワークシートを見ながら、書き方の確認をし、お気に入りの本のあらすじをまとめることを確かめ、目的意識をもたせる。
	あらすじポイントを使ってお気に入りの本のあらすじをまとめよう	
深め・広げる25分	3 課題を解決する。 (1)「紹介カード」に書いたあらすじをグループで交流し合う。 ★友達の発表は、自分のあらすじの書き方と比べ、どんなところがよかったですか？どのように直すともっとよくなりますか？ ★友達からどんなアドバイスをもらいましたか？ (2) 友達からもらったアドバイスを基にあらすじを推敲する。 ★友達にアドバイスをもらって、どう変わりましたか？(拡大提示装置、モニター)	○物語の組み立てやあらすじポイントを意識しながら書かれているかなど、アドバイスすることを考えながら聞き、理由をつけたアドバイスができるように伝える。また、友達の発表を自分の書いたあらすじと比べながら聞くように声かけをする。 ○机間指導をしながら、アドバイスができるように声かけをする。 ○友達の考えを聞いて参考にしたり、自分の考えが深まったりしたことを取り入れながらカードに書き込むように促す。 ○友達のアドバイスを取り入れながらよりよいあらすじになるよう手直しさせる。 ○拡大提示装置で、あらすじを発表させる。 ◆自分が選んだ本のおもしろさを説明するために、場面の移り変わりの印象的などころや主人公の性格や気持ちの変化を捉えて読んでいる。 <div style="text-align: right;">【C(1)ウ】 (ワークシート、発言)</div>
まとめ・つなげる10分	4 本時の学習の振り返りをする。 5 次時の学習を確認する。	○グループ学習で、友達のアドバイスを聞き、気が付いたりあらすじが深まったりしたかなど自分の言葉でまとめるように助言する。

(4) 板書計画



【論点】 グループでの活動が、効果的な学びにつながっているか